

○ 議第 106 号～第 126 号「指定管理者の指定について(子ども若者はぐくみ局関係)」
参考資料

議第 106 号「京都市上賀茂児童館」	・・・	1
議第 107 号「京都市西賀茂児童館」	・・・	5
議第 108 号「京都市紫竹児童館」	・・・	9
議第 109 号「京都市吉田児童館」	・・・	13
議第 110 号「京都市白川児童館」	・・・	17
議第 111 号「京都市養正児童館」	・・・	21
議第 112 号「京都市松ヶ崎児童館」	・・・	25
議第 113 号「京都市市原野児童館」	・・・	29
議第 114 号「京都市山階児童館」	・・・	33
議第 115 号「京都市小野児童館」	・・・	37
議第 116 号「京都市百々児童館」	・・・	41
議第 117 号「京都市唐橋児童館」	・・・	45
議第 118 号「京都市山王児童館」	・・・	49
議第 119 号「京都市山ノ本児童館」	・・・	53
議第 120 号「京都市梅津児童館」	・・・	57
議第 121 号「京都市嵯峨児童館」	・・・	61
議第 122 号「京都市檜原児童館」	・・・	65
議第 123 号「京都市大枝児童館」	・・・	69
議第 124 号「京都市境谷児童館」	・・・	73
議第 125 号「京都市春日野児童館」	・・・	77
議第 126 号「京都市藤森竹田児童館」	・・・	81
各指定候補者の役員等名簿	・・・	85

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市北区上賀茂烏帽子ヶ垣内町 2 4 番地
(施設外クラス)
北区上賀茂烏帽子ヶ垣内町 1 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 3 2 1. 3 9 平方メートル
(施設外クラス)
京都市上賀茂小学校内
延べ床面積 9 0. 0 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0, 0 0 0, 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの自主性、社会性、創造性を養い、子どもの考える力、行動する力、人と交わる力など「生きる力」を育て、子どもの自立を支援することを目指す。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	30,661,496	31,506,927	32,377,722	33,274,640	34,198,466
	利用料	12,825,000	12,825,000	12,825,000	12,825,000	12,825,000
	収入合計	43,486,496	44,331,927	45,202,722	46,099,640	47,023,466
支出	人件費	29,185,596	30,031,027	30,901,822	31,798,740	32,722,566
	事業費	14,300,900	14,300,900	14,300,900	14,300,900	14,300,900
	支出合計	43,486,496	44,331,927	45,202,722	46,099,640	47,023,466

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡る児童館運営の実績から、実現可能な運営計画となっており非常に評価できる。 ・ 事業計画において、幅広い年代を対象とした地域交流を意識した様々な活動が計画されている点が評価できる。 ・ 困難家庭の小中高生の居場所となれるような学習支援等について、今後検討されると、さらによい。 ・ 中高生世代と赤ちゃんとの交流活動等、中高生の活動も積極的に取り組んでいることや、地域交流も活発にされている様子が素晴らしい。 ・ アレルギー疾患のある児童の症状の確認と対策を講じているところ、とくにエピペンを使えるようにしているところが素晴らしい。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	23.25
	小計	38	33.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	100.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 様々な観点からサービスの質の確保・向上を検討されており、素晴らしい。外部評価の評価が悪かった点について、どのように事業展開するのか検討してほしい。「中高生世代が主体的に関わることのできる働きかけ」について、地域の方と連携した取り組みがされている。京都市青少年活動センターとの連携を進めることができれば、さらに主体的な活動となると考える。
- 事業計画に記載したサービスの質の確保・向上に向けた様々な具体的な取り組みが実施されており、人材の確保・育成を重視している点も実効的である。
- 待遇面での配慮に加え、個々の職員の負担軽減のため、さらなる業務の効率化を進めてほしい。ミーティングでも主体的な意見が出せるような雰囲気づくりを行っていただきたい。
- 経営団体のもつノウハウは素晴らしいが、各児童館で独自の取り組みやマニュアルの個別見直しをして工夫を加えてほしい。
- 中高生との連携事業が少ないと思われるので、積極的に企画してほしい。
- サービスの質の確保及び向上を両立した記載になっていると思う。児童館運営には質の高いサービスも大事だが、児童の健全な成長のためにも「人材」がより重要になるので、引き続き人材確保の施策の充実が重要と考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市北区大宮薬師山東町 1 3 番地の 1 7
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 1 9 6 . 9 4 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの自主性、社会性、創造性を養い、子どもの考える力、行動する力、人と交わる力など「生きる力」を育て、子どもの自立を支援することを目指す。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	31,549,306	32,428,991	33,335,066	34,268,323	35,229,578
	利用料	7,374,600	7,374,600	7,374,600	7,374,600	7,374,600
	収入合計	38,923,906	39,803,591	40,709,666	41,642,923	42,604,178
支出	人件費	30,324,706	31,204,391	32,110,466	33,043,723	34,004,978
	事業費	8,599,200	8,599,200	8,599,200	8,599,200	8,599,200
	支出合計	38,923,906	39,803,591	40,709,666	41,642,923	42,604,178

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡る児童館運営の実績から、実現可能な運営計画となっており非常に評価できる。 ・ 事業計画において、幅広い年代を対象とした地域交流を意識した様々な活動が計画されている点が評価できる。 ・ 困難家庭の小中高生の居場所となれるような学習支援等について、今後検討されると、さらによい。 ・ 中高生世代と赤ちゃんとの交流活動等、中高生の活動に取り組んでいることや、ふれあい夏祭り等で地域交流も活発にされている様子が素晴らしい。 ・ アレルギー疾患のある児童の症状の確認と対策を講じているところ、とくにエピペンを使えるようにしているところが素晴らしい。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	23.25
	小計	38	33.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	100.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 様々な観点からサービスの質の確保・向上を検討されており、素晴らしい。外部評価の評価が悪かった点について、どのように事業展開するのか検討してほしい。特に「中高生世代が主体的に関わることのできる働きかけ」について、中高生世代の主体的な活動ができる拠点となることを検討すること、同一法人管理の児童館事業を参考にすること、京都市青少年活動センターとの連携を進めることを期待する。
- 事業計画に記載したサービスの質の確保・向上に向けた様々な具体的な取り組みが実施されており、人材の確保・育成を重視している点も実効的である。
- 待遇面での配慮に加え、個々の職員の負担軽減のため、さらなる業務の効率化を進めてほしい。ミーティングでも主体的な意見が出せるような雰囲気づくりを行っていただきたい。
- 経営団体のもつノウハウは素晴らしいが、各児童館で独自の取り組みやマニュアルの個別見直しをして工夫を加えてほしい。
- 中高生との連携事業が少ないと思われるので、積極的に企画をしてほしい。
- サービスの質の確保及び向上を両立した記載になっていると思う。児童館運営には質の高いサービスも大事だが、児童の健全な成長のためにも「人材」がより重要になるので、引き続き人材確保の施策の充実が重要と考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市北区紫竹下園生町 2 6 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建て
延べ床面積 259.27 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0, 0 0 0, 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 児童館事業においては、遊びを通して、子どもたちのチャレンジ精神を養い、成功体験によって自信と達成感を感じたり、仲間同士互いに認め合うこと、社会性、創造性等を養うなどの健全育成を図る。

イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。

ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。

エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	30,649,573	31,438,007	32,250,094	33,086,543	33,948,086
	利用料	10,777,800	10,777,800	10,777,800	10,777,800	10,777,800
	収入合計	41,427,373	42,215,807	43,027,894	43,864,343	44,725,886
支出	人件費	27,126,473	27,914,907	28,726,994	29,563,443	30,424,986
	事業費	14,300,900	14,300,900	14,300,900	14,300,900	14,300,900
	支出合計	41,427,373	42,215,807	43,027,894	43,864,343	44,725,886

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡る児童館運営の実績から、実現可能な運営計画となっており非常に評価できる。 ・ 事業計画において、幅広い年代を対象とした地域交流を意識した様々な活動が計画されている点が評価できる。 ・ 困難家庭の小中高生の居場所となれるような学習支援等について、今後検討されると、さらによい。 ・ 神社での作品展や福祉まつりを開催し、地元とのかかわりを大切にしていることや、地域子育て支援ステーション事業を展開し、保育園から大学まで様々な団体と連携してイベント等を実施しているところが素晴らしい。 ・ アレルギー疾患のある児童の症状の確認と対策を講じているところ、とくにエピペンを使えるようにしているところが素晴らしい。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	23.25
	小計	38	33.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	100.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 様々な観点からサービスの質の確保・向上を検討されており、素晴らしい。外部評価の評価が悪かった点について、どのように事業展開するのか検討してほしい。「中高生世代が主体的に関わることのできる働きかけ」について、中高生世代の主体的な活動ができる拠点となることを検討すること、同一法人管理の児童館事業を参考にすること、京都市青少年活動センターとの連携を進めることを期待する。
- 事業計画に記載したサービスの質の確保・向上に向けた様々な具体的な取り組みが実施されており、人材の確保・育成を重視している点も実効的である。
- 待遇面での配慮に加え、個々の職員の負担軽減のため、さらなる業務の効率化を進めてほしい。ミーティングでも主体的な意見が出せるような雰囲気づくりを行っていただきたい。
- 経営団体のもつノウハウは素晴らしいが、各児童館で独自の取り組みやマニュアルの個別見直しをして工夫を加えてほしい。
- 中高生との連携事業が少ないと思われるので、積極的に企画をしてほしい。
- サービスの質の確保及び向上を両立した記載になっていると思う。児童館運営には質の高いサービスも大事だが、児童の健全な成長のためにも「人材」がより重要になるので、引き続き人材確保の施策の充実が重要と考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区吉田中阿達町 39 番地の 15
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造 1 階建て
延べ床面積 187.25 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 36 年 4 月 28 日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 30 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの自主性、社会性、創造性を養い、子どもの考える力、行動する力、人と交わる力など「生きる力」を育て、子どもの自立を支援することを目指す。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	24,099,318	24,842,719	25,608,421	26,397,095	27,209,429
	利用料	7,911,400	7,911,400	7,911,400	7,911,400	7,911,400
	収入合計	32,010,718	32,754,119	33,519,821	34,308,495	35,120,829
支出	人件費	25,901,420	26,644,821	27,410,523	28,199,197	29,011,531
	事業費	6,109,298	6,109,298	6,109,298	6,109,298	6,109,298
	支出合計	32,010,718	32,754,119	33,519,821	34,308,495	35,120,829

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡る児童館運営の実績から、実現可能な運営計画となっており非常に評価できる。 ・ 事業計画において、幅広い年代を対象とした地域交流を意識した様々な活動が計画されている点が評価できる。 ・ 困難家庭の小中高生の居場所となれるような学習支援等について、今後検討されると、さらによい。 ・ 中高生との連携がうまくいっているところや、学区民夏祭り等で地域と連携して様々なイベントや活動を実施しているところが素晴らしい。 ・ アレルギー疾患のある児童の症状の確認と対策を講じているところ、とくにエピペンを使えるようにしているところが素晴らしい。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	23.25
	小計	38	33.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	100.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 様々な観点からサービスの質の確保・向上を検討されており、素晴らしい。外部評価の評価が悪かった点について、どのように事業展開するのか検討してほしい。「中高生世代が主体的に関わることのできる働きかけ」について、京都市青少年活動センターとの連携を進めることを期待する。
- 事業計画に記載したサービスの質の確保・向上に向けた様々な具体的な取り組みが実施されており、人材の確保・育成を重視している点も実効的である。
- 待遇面での配慮に加え、個々の職員の負担軽減のため、さらなる業務の効率化を進めてほしい。ミーティングでも主体的な意見が出せるような雰囲気づくりを行っていただきたい。
- 経営団体のもつノウハウは素晴らしいが、各児童館で独自の取り組みやマニュアルの個別見直しをして工夫を加えてほしい。
- 中高生との連携事業が少ないと思われるので、積極的に企画してほしい。
- サービスの質の確保及び向上を両立した記載になっていると思う。児童館運営には質の高いサービスも大事だが、児童の健全な成長のためにも「人材」がより重要になるので、引き続き人材確保の施策の充実が重要と考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区浄土寺真如町 1 5 5 番地の 2
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 3 8 1 . 2 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通して、子どもたちのチャレンジ精神、「やればできる」という自信と達成感を感じたり、仲間同士互いに認め合うこと、社会性、創造性等を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	32,788,277	33,595,213	34,426,357	35,282,435	36,164,196
	利用料	3,533,300	3,533,300	3,533,300	3,533,300	3,533,300
	収入合計	36,321,577	37,128,513	37,959,657	38,815,735	39,697,496
支出	人件費	27,978,977	28,785,913	29,617,057	30,473,135	31,354,896
	事業費	8,342,600	8,342,600	8,342,600	8,342,600	8,342,600
	支出合計	36,321,577	37,128,513	37,959,657	38,815,735	39,697,496

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 日々の活動の中で子どもたちの意向を確認することはもちろん、アンケート実施に際しては子どもから聞き取りまで行っていることが窺われる記載があり、そのような利用者概念（保護者だけでなく子どもも利用主体であること）を前提に、支援や対応等の改善を都度試みている点が特に評価できる。 職員の問題行動への対応について、その職員個人の責任と捉えるのではなく、施設・法人全体の責任と捉えて、フォロー・原因分析にあたる姿勢が評価できる。 登録制クラブの活動や季節の工作を通じて子どもの育成活動を実施している点が評価できる。また、中高生と赤ちゃんとの交流活動を行っている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	19.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.25
合計		106	99.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 法令順守審査会や苦情解決第三者委員会等、第三者によるチェックの仕組みが設けられているが、虐待防止や事故防止対策に関しても外部の目を入れ、助言等を得る仕組みがあればサービスの質の向上に資すると考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区田中玄京町 30 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 356.23 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 36 年 4 月 28 日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 30 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの自主性、社会性、創造性を養い、子どもの考える力、行動する力、人と交わる力など「生きる力」を育て、子どもの自立を支援することを目指す。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	29,453,001	30,279,568	31,130,932	32,007,837	32,911,050
	利用料	4,465,500	4,465,500	4,465,500	4,465,500	4,465,500
	収入合計	33,918,501	34,745,068	35,596,432	36,473,337	37,376,550
支出	人件費	28,624,491	29,451,058	30,302,422	31,179,327	32,082,540
	事業費	5,294,010	5,294,010	5,294,010	5,294,010	5,294,010
	支出合計	33,918,501	34,745,068	35,596,432	36,473,337	37,376,550

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 ・ 長きにわたる児童館運営から、国の施策や社会の意識の変化に応じて、必要な対応の検討やマニュアル・体制の整備を着実に積み重ねてきたことがわかる。また、関係機関と緊密に連携し、利用者や地域社会と積極的に繋がり、役割を果たそうとしている点が特に評価できる。 ・ 遊びの道具を、子どもたちが自由に使いながら置き場所を常に整理整頓できるような環境づくりをしている点が評価できる。 ・ 子育てネットワーク会議を通じて活動内容等の報告を行い、各団体と情報交換をして地域ニーズを把握している点が特に評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	19.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.25
合計		106	99.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 法令順守審査会や苦情解決第三者委員会等、第三者によるチェックの仕組みが設けられているが、虐待防止や事故防止対策に関しても外部の目を入れ、助言等を得る仕組みがあればサービスの質の向上に資すると考える。
- 利用者アンケートは、保護者による回答を想定していると思われるが、子ども主体の企画を実施するときだけでなく、また目安箱設置にとどまらず、利用者である子自身の意見を児童館側が直接聞き取って集約する機会があった方がよい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区松ヶ崎小竹藪町 3 2 番地の 3
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建て
延べ床面積 189.17 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 36 年 4 月 28 日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 30 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通してチャレンジ精神や達成感を感じたり、仲間同士互いに認め合うこと、社会性、創造性を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	31,411,858	32,276,071	33,166,210	34,083,053	35,027,401
	利用料	6,593,000	6,593,000	6,593,000	6,593,000	6,593,000
	収入合計	38,004,858	38,869,071	39,759,210	40,676,053	41,620,401
支出	人件費	29,658,858	30,523,071	31,413,210	32,330,053	33,274,401
	事業費	8,346,000	8,346,000	8,346,000	8,346,000	8,346,000
	支出合計	38,004,858	38,869,071	39,759,210	40,676,053	41,620,401

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡る児童館運営の実績から、実現可能な運営計画となっており非常に評価できる。 ・ 事業計画において、幅広い年代を対象とした地域交流を意識した様々な活動が計画されている点が評価できる。 ・ 困難家庭の小中高生の居場所となれるような学習支援等について、今後検討されると、さらによい。 ・ 大学や専門学校の方へ児童館見学会を行っていること、地域子育て支援ステーション事業を展開し、保育園から大学まで様々な団体と連携してイベント等を実施しているところが素晴らしい。 ・ アレルギー疾患のある児童の症状の確認と対策を講じているところ、とくにエピペンを使えるようにしているところが素晴らしい。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	23.25
	小計	38	33.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	100.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 様々な観点からサービスの質の確保・向上を検討されており、素晴らしい。外部評価の評価が悪かった点について、どのように事業展開するのか検討してほしい。「中高生世代が主体的に関わることのできる働きかけ」について、京都市青少年活動センターとの連携を進めることを期待する。
- 事業計画に記載したサービスの質の確保・向上に向けた様々な具体的な取り組みが実施されており、人材の確保・育成を重視している点も実効的である。
- 待遇面での配慮に加え、個々の職員の負担軽減のため、さらなる業務の効率化を進めてほしい。ミーティングでも主体的な意見が出せるような雰囲気づくりを行っていただきたい。
- 経営団体のもつノウハウは素晴らしいが、各児童館で独自の取り組みやマニュアルの個別見直しをして工夫を加えてほしい。
- 中高生との連携事業が少ないと思われるので、積極的に企画してほしい。
- サービスの質の確保及び向上を両立した記載になっていると思う。児童館運営には質の高いサービスも大事だが、児童の健全な成長のためにも「人材」がより重要になるので、引き続き人材確保の施策の充実が重要と考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区静海市市原町 2 5 4 番地の 2
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て (2 階部分)
延べ床面積 4 8 2 . 9 8 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 (会長 高屋 宏章)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業) ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通してチャレンジ精神、自信と達成感、社会性、創造性等を養い、健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	26,182,234	26,821,624	27,480,196	28,158,525	28,857,204
	利用料	3,533,300	3,533,300	3,533,300	3,533,300	3,533,300
	収入合計	29,715,534	30,354,924	31,013,496	31,691,825	32,390,504
支出	人件費	22,367,234	23,006,624	23,665,196	24,343,525	25,042,204
	事業費	7,348,300	7,348,300	7,348,300	7,348,300	7,348,300
	支出合計	29,715,534	30,354,924	31,013,496	31,691,825	32,390,504

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 ・ 障害のある児童や医療的ケアの必要な児童の受け入れを積極的に行っている点で、当該児童館の果たす社会的役割は大きいと考える。また、お弁当いらぬデー等、親の苦労にも寄り添っているように感じられ、評価できる。 ・ 退職した元館長が準職員として適時巡回しているのは、業務の分断が起こりづらく、現役職員も相談しやすいという点が評価できる。 ・ 学年により、内容の異なるクラブを行うことや、中高生の利用促進などにより世代間交流を積極的に進めている点が評価できる。 ・ 子どもの育成のために、子供に主体性を持たせるための子ども会議などを行っている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	19.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	64.50
合計		106	98.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	92.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 中高生が児童館に来てもらえるよう、17時以降は遊戯室を中高生だけで使えるようにした取り組みそのものは重要と考えるが、多様な年齢層の子どもが来館する児童館ならではの強みを生かし、中高生が小学生ら異年齢の利用者とも継続的に関わることのできるような取り組みも加わるとより良い。
- 人口が減っている地域であるため、地域住民にもっと開かれた活動ができれば、児童館の子どもたちとの結びつきを強められるのではないかと考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
 京都市山科区竹鼻四丁野町 4 2 番地の 3
 (分室)
 京都市山科区安朱山川町 1 7
 (分室の施設外クラス)
 京都市山科区安朱川向町 3 - 1
- (2) 施設規模等
 構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建て
 延べ床面積 188.50 平方メートル
 (分室)
 京都市安朱小学校内
 延べ床面積 87.00 平方メートル
 (分室の施設外クラス)
 元疎水事務所山科分所
 延べ床面積 68.04 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業

	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか30館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの自主性、社会性、創造性を養い、子どもの考える力、行動する力、人と交わる力など「生きる力」を育て、子どもの自立を支援することを目指す。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	39,288,469	40,203,306	41,145,588	42,116,139	43,115,806
	利用料	15,714,200	15,714,200	15,714,200	15,714,200	15,714,200
	収入合計	55,002,669	55,917,506	56,859,788	57,830,339	58,830,006
支出	人件費	31,621,069	32,535,906	33,478,188	34,448,739	35,448,406
	事業費	23,381,600	23,381,600	23,381,600	23,381,600	23,381,600
	支出合計	55,002,669	55,917,506	56,859,788	57,830,339	58,830,006

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 ・ 育児において孤立しがちな父に焦点を当てた乳幼児保護者支援を提案している点や、ボランティアとして児童館の活動に参加した中高生に地域利用可能な通貨を発行して地域社会との繋がりを構築する取り組みを行うなど、児童館の役割を果たすべく工夫をこらしており、評価できる。 ・ 団体全体では、京都市内の障害のある児童の受け入れ数のうち、約3分の1を受け入れてノーマライゼーションの実現を図っている点が評価できる。 ・ ランチタイム、夕方広場などの行事を開催して地域住民との交流を行っている点が評価できる。また、「じどうかんまつり」の開催に当たり子どもスタッフ会議や子どもが主体となる行事を行っている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.50
合計		106	99.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 法令順守審査会や苦情解決第三者委員会等、第三者によるチェックの仕組みが設けられているが、虐待防止や事故防止対策に関しても外部の目を入れ、助言等を得る仕組みがあればサービスの質の向上に資すると考える。
- 子どもたちの意見を反映する取組について、自ら積極的に発信できない子に対してもフォローができる体制を構築していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市山科区小野蚊ヶ瀬町 1 5 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 2 9 1 . 4 6 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの心と体の健やかな育ちを援助し、さまざまな遊びを通して、自信や達成感を感じたり、仲間同士互いに認め合うことで、社会性、創造性等を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	36,308,841	37,188,979	38,095,521	39,029,260	39,991,011
	利用料	9,328,300	9,328,300	9,328,300	9,328,300	9,328,300
	収入合計	45,637,141	46,517,279	47,423,821	48,357,560	49,319,311
支出	人件費	31,335,131	32,215,269	33,121,811	34,055,550	35,017,301
	事業費	14,302,010	14,302,010	14,302,010	14,302,010	14,302,010
	支出合計	45,637,141	46,517,279	47,423,821	48,357,560	49,319,311

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 発達や言語について不安を感じている乳幼児親子を対象とした居場所作りに取り組んでいる点や、子どもの権利条約の4つの原則をベースに多様な個性を尊重し、一人一人を大切にできる児童館を目指している点が非常に評価できる。また、障害を抱える児童につき相互理解のための学びを提供する取り組みや、保護者相談やケース会議の実施等、多様な利用者に非常にきめ細やかな対応をしていると感じる。 4月に上級生が1年生に館内を案内して、児童館の決まりなどを伝えている点が、子ども同士で話し合う機会を重要視しており評価できる。 フードバンクの実施や子ども食堂との連携により貧困家庭の子どもへの支援を行っている点が評価できる。また、民生児童委員協議会との連携、高齢者との交流、すこやか学級への参加等地域交流を行っている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.50
合計		106	99.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 法令順守審査会や苦情解決第三者委員会等、第三者によるチェックの仕組みが設けられているが、虐待防止や事故防止対策に関しても外部の目を入れ、助言等を得る仕組みがあればサービスの質の向上に資すると考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市山科区西野山欠ノ上町 6 5 番地の 1 0
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 1 9 7 . 4 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、子どもの自主性、社会性、創造性を養い、子どもの考える力、行動する力、人と交わる力など「生きる力」を育て、子どもの自立を支援することを目指す。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	30,855,081	31,701,966	32,574,257	33,472,717	34,398,131
	利用料	5,806,900	5,806,900	5,806,900	5,806,900	5,806,900
	収入合計	36,661,981	37,508,866	38,381,157	39,279,617	40,205,031
支出	人件費	29,366,781	30,213,666	31,085,957	31,984,417	32,909,831
	事業費	7,295,200	7,295,200	7,295,200	7,295,200	7,295,200
	支出合計	36,661,981	37,508,866	38,381,157	39,279,617	40,205,031

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 ・ 大学生との交流の機会を設けていることが特徴的で、児童館卒業後も地域の協力者として定着させられる可能性を秘めているように感じた。また、障害のある児童の受け入れに際して、保護者間で対話の機会を設けるなど、互いの理解を促進しようという姿勢が評価できる。 ・ 児童館を利用したことがない世帯や、乳幼児の保護者が親子で気軽に利用できるような周知がなされている点が評価できる。 ・ 子どもの育成のために様々なクラブ活動を設定しており、子ども実行委員会の運営により子どもの自主性を促している点が評価できる。また、思春期児童への支援を行っている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	19.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	64.50
合計		106	98.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	92.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 法令順守審査会や苦情解決第三者委員会等、第三者によるチェックの仕組みが設けられているが、虐待防止や事故防止対策に関しても外部の目を入れ、助言等を得る仕組みがあればサービスの質の向上に資すると考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市南区唐橋西寺町 6 5 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造 2 階建て
延べ床面積 3 5 7 . 2 4 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 児童館事業においては、既存の児童福祉施設として、子どもが安全で安心して過ごせる居場所となるために、子どもたちと職員、子どもたち同士の繋がりをもって、子どもたちの居場所として選ばれる事を意識した取組を展開する。

イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。

ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。

エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	32,025,747	32,935,502	33,872,550	34,837,709	35,831,823
	利用料	11,488,300	11,488,300	11,488,300	11,488,300	11,488,300
	収入合計	43,514,047	44,423,802	45,360,850	46,326,009	47,320,123
支出	人件費	31,263,447	32,173,202	33,110,250	34,075,409	35,069,523
	事業費	12,250,600	12,250,600	12,250,600	12,250,600	12,250,600
	支出合計	43,514,047	44,423,802	45,360,850	46,326,009	47,320,123

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 学童クラブの登録児童の増加に伴い、図書館にも子どもたちが宿題や読書ができるように常時機を出すことや、本棚の棚板の増設も行うなど環境の改善に努めている点が評価できる。また、子どもたちの要望を聞き、本や漫画を増やすようにしている点も評価できる。 地域イベントの周知でチラシを配置するなど、地域の情報拠点として活用している点、年間通して様々なイベントがあり、利用したくなるような工夫をしている点が評価できる。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 中高生の利用促進を図るため中高生と赤ちゃんの交流事業が行われており、良い取組であるため今後も継続していただきたい。
- メインの利用者である児童と、地域住民や老人会、中高生等異なる世代の交流ができる事業が計画されており、それぞれの世代にとって貴重な機会になると思われる。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市南区東九条南山王町 5 番地の 5
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造 2 階建て (2 階部分)
延べ床面積 215.38 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 (会長 高屋 宏章)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業) ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 30 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通して、子どもたちが「やればできる」という自信や達成感を感じ、仲間同士互いに認め合うことで、社会性や創造性を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・出身保育園など関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	24,889,118	25,514,205	26,158,045	26,821,199	27,504,248
	利用料	3,257,100	3,257,100	3,257,100	3,257,100	3,257,100
	収入合計	28,146,218	28,771,305	29,415,145	30,078,299	30,761,348
支出	人件費	22,079,620	22,704,707	23,348,547	24,011,701	24,694,750
	事業費	6,066,598	6,066,598	6,066,598	6,066,598	6,066,598
	支出合計	28,146,218	28,771,305	29,415,145	30,078,299	30,761,348

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 自前での取り組みは計画立案から準備、実行まで様々なコストがかかるところ、はぐくみ室等、連携機関が主催するイベントや健診等に出向いて児童館として役割を果たそうとしている点が評価できる。 一人っ子が増えている昨今、中高生世代と赤ちゃんとの交流活動で自身の幼児期や家族について振り返る貴重な体験になっている点が評価できる。 目標を持って挑戦できるよう、こままわしやけん玉の検定を実施している点が評価できる。また、縦割りの班活動を行い、上の学年の児童が下の学年の児童の対応をすることで、子ども育成機能を養う取組を行っている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.50
合計		106	99.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 利用者アンケートはサービスの質の確保や向上にとって重要と考えるが、そのアンケート内において、連絡ノートがなくなりアプリだけでは不安に感じることがあるとの指摘がある。電話や直接対話などで子に関することを共有することのことだが、保護者としては、多数の子を預かり、忙しくしているように見える職員に話かけづらい面があるかもしれないため、引き続き、保護者との連携方法については、検討を続けていただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市南区上鳥羽山ノ本町 3 3 4 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て (2 階部分)
延べ床面積 2 0 1 . 1 5 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 (会長 高屋 宏章)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業) ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通して、子どもの心と体の健やかな育ちを援助し、自主性、社会性、創造性を養う健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	26,918,361	27,615,178	28,332,900	29,072,154	29,833,586
	利用料	2,867,800	2,867,800	2,867,800	2,867,800	2,867,800
	収入合計	29,786,161	30,482,978	31,200,700	31,939,954	32,701,386
支出	人件費	24,264,761	24,961,578	25,679,300	26,418,554	27,179,986
	事業費	5,521,400	5,521,400	5,521,400	5,521,400	5,521,400
	支出合計	29,786,161	30,482,978	31,200,700	31,939,954	32,701,386

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は業績悪化したものの、運営資金借入金も設備資金借入金もなく、借入償還負担が生じない点が評価できる。また、地域に密着し、社会からの潜在的な要請にも応える義務を果たそうとしていることが伝わった。 ・ 積極的に外へ出て児童館の活動の一部を提供し、児童館を知ってもらおうべく活動している点が評価できる。また、支援に繋がりにくい10～20代前半の父母と繋がりを持つための施策を行っている点も注目すべきと考える。 ・ 防犯面に不安を感じるとのアンケート回答から玄関に人感チャイムの設置を検討するなど、利用者の声を反映する取組を行っている点が評価できる。 ・ 子どもたちが自主性、主体性を育てるための「高学年クラブ」を実施している点が評価できる。また、フードライブ活動を通じて貧困家庭の子どもへの支援を行っている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	34.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.50
合計		106	99.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 各事業所の所長には、会計面に関する研修を実施し、月次で予実分析や資金繰りの管理を行い、サービスの質の確保、向上のために会計面でも工夫していただきたい。
- 法令順守審査会や苦情解決第三者委員会等、第三者によるチェックの仕組みが設けられているが、虐待防止や事故防止対策に関しても外部の目を入れ、助言等を得る仕組みがあればサービスの質の向上に資すると考える。
- 交通量の多いエリアにある児童館なので、児童移動路で事故の多い箇所や実際に起こった交通事故などを学習する機会があればよい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区梅津中村町 3 5 番地の 5
(施設外クラス)
京都市右京区梅津中村町 3 8
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造 1 階建て
延べ床面積 1 9 6 . 0 0 平方メートル
(施設外クラス)
京都市梅津小学校内
延べ床面積 9 5 . 0 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通して、子どもたちが「やればできる」という自信や達成感を感じ、仲間同士互いに認め合うことで、社会性や創造性を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	38,480,177	39,429,928	40,408,171	41,415,762	42,453,581
	利用料	8,669,700	8,669,700	8,669,700	8,669,700	8,669,700
	収入合計	47,149,877	48,099,628	49,077,871	50,085,462	51,123,281
支出	人件費	32,571,277	33,521,028	34,499,271	35,506,862	36,544,681
	事業費	14,578,600	14,578,600	14,578,600	14,578,600	14,578,600
	支出合計	47,149,877	48,099,628	49,077,871	50,085,462	51,123,281

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのにならない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 「やればできる」という自信と達成感を感じたり仲間同士互いに認め合える取り組みが行われている点が評価できる。また、学生サークルと連携し、学生ボランティアが参加している点も評価できる。 多くの児童館の運営実績があること、大学生等実習の受入れや、中学生のチャレンジ体験の受入れ、中高生と赤ちゃんのふれあい等、幅広い年代に向けた取組を実施している点が評価できる。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 「園芸クラブ」では、地域の方々のアドバイスを受け月2回程度活動しているが、「将棋クラブ」は現在休止中で職員が教えているため、活動再開に向け、園芸クラブのつながりから地域の高齢者で将棋を教えられる人を探すなど検討してはどうか。
- 教育関係以外から着任する管理職もいると思うので、様々な立場の方に向けた研修が実施されているのは大切なことだと感じた。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区嵯峨折戸町 2 8 番地の 9
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て (2 階部分)
延べ床面積 2 5 7 . 5 7 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 (会長 高屋 宏章)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業) ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 児童館事業においては、既存の児童福祉施設として、子どもが安全で安心して過ごせる居場所となるために、子どもたちと職員、子どもたち同士の繋がりをもって、子どもたちの居場所として選ばれる事を意識した取組を展開する。

イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。

ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。

エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	30,652,311	31,511,082	32,395,616	33,306,685	34,245,087
	利用料	5,200,800	5,200,800	5,200,800	5,200,800	5,200,800
	収入合計	35,853,111	36,711,882	37,596,416	38,507,485	39,445,887
支出	人件費	30,108,311	30,967,082	31,851,616	32,762,685	33,701,087
	事業費	5,744,800	5,744,800	5,744,800	5,744,800	5,744,800
	支出合計	35,853,111	36,711,882	37,596,416	38,507,485	39,445,887

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 伝統工芸等に積極的に取り組んでいる点が評価できる。令和5年度は京象嵌の体験を行っていることが、特徴があって良い。 伝統工芸体験など、個人ではハードルの高いイベントに地域で参加できるのは、様々な世代にとって良い経験、思い出となる。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 子どもたちがやりたいことを話し合い、主体的に企画・運営する活動を大切にしているところが良い。児童館で楽しく過ごす為に、子どもたち自身がどうすれば良いかを考えるルールは、子ども達が入れ替わっても大切にしていけるようにしていただきたい。
- 自由来館が増えているとの記述から、地域に根付いて気軽に利用できる施設であることがうかがえる。今後も開かれた雰囲気を持ち続けていただきたい。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市西京区榎原山路 1 1 番地の 1 0
(施設外クラス)
京都市西京区榎原三宅町 2 4 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 3 7 2 . 6 0 平方メートル
(施設外クラス)
京都市榎原小学校内
延べ床面積 6 4 . 0 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通して、チャレンジする心、達成感や自己肯定感、人との関り方を学び、社会性を育てる機会として様々な遊びの取組を行う。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育てるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	42,547,109	43,489,508	44,460,179	45,459,970	46,489,755
	利用料	22,284,100	22,284,100	22,284,100	22,284,100	22,284,100
	収入合計	64,831,209	65,773,608	66,744,279	67,744,070	68,773,855
支出	人件費	32,646,309	33,588,708	34,559,379	35,559,170	36,588,955
	事業費	32,184,900	32,184,900	32,184,900	32,184,900	32,184,900
	支出合計	64,831,209	65,773,608	66,744,279	67,744,070	68,773,855

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのにならない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 大規模な児童館だが、子ども一人一人が過ごしやすい居場所となるように心がけている点が評価できる。全員が同じ小学校であるため、クラス編成等にも配慮されている。 卒業生の中高生とつながり続ける試みはぜひ続けてほしい。鉄道模型のイベントも特色があり評価できる。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 利用者の意見を聞く場として、学童クラブの保護者懇談会が年1回行われているが、他の事業所より少ないため複数回開催することを検討いただきたい。
- 子どもたちが日常的に過ごす場として、利用者の尊重の項目で挙げられているように、子どもに寄り添った対応や働きかけをしていただきたい。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
 京都市西京区大枝塚原町4番地の63
 (施設外クラス)
 京都市西京区大枝塚原町4番地の44
- (2) 施設規模等
 構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
 延べ床面積 196.40平方メートル
 (施設外クラス)
 京都市大枝小学校内
 延べ床面積 86.00平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか30館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 児童館事業においては、遊びを通して、チャレンジする心と、子ども自身の達成感から生まれる自信や、仲間同士互いに認め合い理解し合うことで生まれる社会性、個々の創造性を養うなどの健全育成を図る。

イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。

ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。

エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	31,031,276	31,899,207	32,793,176	33,713,964	34,662,376
	利用料	7,138,500	7,138,500	7,138,500	7,138,500	7,138,500
	収入合計	38,169,776	39,037,707	39,931,676	40,852,464	41,800,876
支出	人件費	29,720,076	30,588,007	31,481,976	32,402,764	33,351,176
	事業費	8,449,700	8,449,700	8,449,700	8,449,700	8,449,700
	支出合計	38,169,776	39,037,707	39,931,676	40,852,464	41,800,876

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのにならない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 中高生の利用促進がはかられており、今年度から児童館だよりを掲示し、午後5時以降ピアノの利用ができたりラジコンを利用したり多くの生徒に児童館を知ってもらおう取り組みが行われている点が評価できる。 防災訓練とおもちゃの交換会をセットで開催するアイデアが評価できる。幅広い世代が集まって、少しでも地域防災について考えるきっかけになると思う。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 保護者懇談会は年3回行われているが、個人懇談の開催月は決めておらず個別相談が随時行われているのみと見受けられる。
- 人材育成の重要性を不可欠とされていることに同意する。利用者は単に場所としてだけでなく、職員の存在を含めて児童館の価値を感じるものだと思う。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市西京区大原野西境谷町三丁目 5 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建て（1、2 階部分）
延べ床面積 276.66 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 36 年 4 月 28 日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 30 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、チャレンジ精神や達成感を感じたり、仲間同士互いに認め合うこと、社会性、創造性を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	33,740,531	34,601,041	35,487,366	36,400,281	37,340,583
	利用料	4,366,000	4,366,000	4,366,000	4,366,000	4,366,000
	収入合計	38,106,531	38,967,041	39,853,366	40,766,281	41,706,583
支出	人件費	29,704,931	30,565,441	31,451,766	32,364,681	33,304,983
	事業費	8,401,600	8,401,600	8,401,600	8,401,600	8,401,600
	支出合計	38,106,531	38,967,041	39,853,366	40,766,281	41,706,583

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのにならない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 工作週間の設定と季節の工作の取組に力を入れている点が評価できる。 日常の業務に加え、子どもや地域住民に開かれたお祭りやプレイパークの開催等、気軽に誰もが参加できる場を提供している点が評価できる。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 各種アンケートの取組は確認できたが、対面で意見を聞く場としての懇談会の実施等が確認できなかった。
- 地域に根差した子どものための施設として、今後も各種団体や子ども関連の事業所とのネットワークを大切にしていきたい。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区日野林49番地の12
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 191.49平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか30館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、遊びを通して子どもの自主性や創造性、社会性などを養い、健全育成に努める。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、質の高い安心できるサービスを提供し、生活や遊び、行事、取組みを通して自主性やチャレンジ精神を育む。
- ウ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	33,708,908	34,593,823	35,505,285	36,444,091	37,411,062
	利用料	5,336,900	5,336,900	5,336,900	5,336,900	5,336,900
	収入合計	39,045,808	39,930,723	40,842,185	41,780,991	42,747,962
支出	人件費	30,670,908	31,555,823	32,467,285	33,406,091	34,373,062
	事業費	8,374,900	8,374,900	8,374,900	8,374,900	8,374,900
	支出合計	39,045,808	39,930,723	40,842,185	41,780,991	42,747,962

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのにならない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 児童館だより、小・中学校の学校だよりの3つを綴じて、毎月、町内回覧し、地域の人に児童館の活動を周知する取組を行っている点が評価できる。 近隣の公園遊びを取り入れて、児童館利用者や学童以外の子どもにも目を配っている点、また利用者である児童の意見を活動に活かしている点等が評価できるため、ぜひ続けていただきたい。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 利用者の意見を聞く場として、学童クラブの保護者懇談会が年1回行われているが、他の事業所より少ないため複数回開催することを検討いただきたい。
- 部活動の時間削減などで、中高生の放課後の居場所が不足していると感じるので、ぜひ今後も児童館の利用可能な時間等の周知を進めていただきたい。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区竹田醍醐田町 1 7 番地の 5
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 3 8 1 . 2 3 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 高屋 宏章）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 3 6 年 4 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人福祉センターの経営 ・ 地域包括支援センターの経営 ・ 老人短期入所施設の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ その他この法人の目的達成のため必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市上京児童館ほか 3 0 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童館事業においては、チャレンジ精神や達成感を感じたり、仲間同士互いに認め合うこと、社会性、創造性を養うなどの健全育成を図る。
- イ 学童クラブ事業においては、円滑なクラス運営を導入し、学年を超えた仲間づくり、チャレンジ精神、自立性・社会性を育めるよう質の高い安心できるサービスを提供する。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携をとりながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応に努める。
- エ 関係機関及び地域団体等との連携の強化や地域住民と子どもたちの交流活動を進めていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	29,882,366	30,763,556	31,671,181	32,606,035	33,568,935
	利用料	6,293,400	6,293,400	6,293,400	6,293,400	6,293,400
	収入合計	36,175,766	37,056,956	37,964,581	38,899,435	39,862,335
支出	人件費	30,478,566	31,359,756	32,267,381	33,202,235	34,165,135
	事業費	5,697,200	5,697,200	5,697,200	5,697,200	5,697,200
	支出合計	36,175,766	37,056,956	37,964,581	38,899,435	39,862,335

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや研修を多く取り入れ、場当たりのにならない画一的運営を実現できるよう取り組んでいる点が評価できる。 かまぼこ板落としのゲームを行っており、開催にあたっては保護者にかまぼこ板集めを協力してもらっている点や、菜園活動も行っている点が評価できる。 乳幼児の保護者に焦点を当てた支援や、思春期児童の居場所となるような取組等、今後も期待できるような内容が多々あり、評価できる。子供服や絵本のリユースも、地域の拠点として児童館は最適であるため、ぜひ続けていただきたい。 内部監査を行っており、3年間で全部署に対して実施していることはガバナンスの面で評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 利用者の意見をアンケート等で適切に酌み取り、サービスに反映させており、望ましいものと評価する。今後、より一層、きめ細やかに意見を酌み取り、サービスに反映させていくことを期待する。
- 利用者の意見を聞く場として、学童クラブの保護者懇談会が年1回行われているが、他の事業所より少ないため複数回開催することを検討いただきたい。
- 子どもが主体となった企画やイベント等も豊富で、行きたくなる場づくりをしていると感じる。不登校児の支援にも言及があるが、学校だけでなく児童館との関わりが持てれば、選択肢の広がりが期待できるため、ぜひ力を入れていただきたい。
- 今後、外国籍の子ども達も増えてくると想定されるので、外国人も差別なく同等に受け入れることができる体制の構築にも取り組まれることが望まれる。

各指定候補者の役員等名簿

団 体 名	役 員
社会福祉法人京都市 社会福祉協議会（議第 106号～議第126号）	会 長 高屋 宏章 会長代行 竹下 義樹 副会長 上林 研二、水田 隆一、山岸 孝啓、井筒 隆夫 理 事 藤田 徳治郎、村上 繁樹、安田 茂夫、内海 敏、 松山 健治、中村 喜代子、岩井 義男、中西 昌哉、 芹澤 出、嶋本 弘文、西村 忠雄、鵜飼 泉、 山口 正孝、佐伯 久子、滕 憲之、並川 哲男、 岡崎 祐司 常務理事 芳賀 正昭 監 事 村上 圭子、松本 和加子、神本 満男 評議員 上田 捷男、田邊 正、河原 善雄、倉橋 修、 西脇 悦子、高落 秀男、大藤 文夫、森奥 友一、 片山 千恵子、小森 純、美濃 敦子、高橋 肇子、 内海 日出子、川田 雅之、石塚 かおる、三浦 正人、 加藤 博史、大泉 清貴、大江 正照、山根 俊茂、 尾高 紀子、岡 千栄子、横内 美佐子、塚崎 直樹、 山添 洋子、土橋 耕治、松景 崇誓、岡本 弥一郎、 西村 葉子、岩井 増枝、前坂 己美子、寺嶋 修一、 天野 広一、石田 光、中路 和代、嶽 みどり、 松田 晃郎、堺 紀恵子、大八木 信行、北川 洋一、 木村 美由紀、松井 道宣、小嶋 薫、平尾 剛之、 藤田 智洋、樹下 康治、玉本 なるみ、白石 真古人、 井上 基